

常盤台使い

Letter from the Residential Tokiwadai

第162号 2025年8月15日

2025年7月24日

流しそうめん



理事長と鈴木シェフの揚げたての天ぷらも大好評でした！



そうめん懷石（常食）



ソフト食



流れてくるそうめンをキャッチ。笑顔も満開です！！



常盤台の健康を支えてくださる
ドクターの皆さんも
童心？にかえって……



この一票に、未来を託す。

7月の参議院選挙、8月の横浜市長選挙の不在者投票を実施しました。
ご利用者おひとりお一人が、自分の意思を大切にしながら投票に臨みました。



投票箱



保土ヶ谷区選挙管理委員会から
立会人が派遣され、
一番街マルシェが投票所に変身!!



清き一票を投票箱に。皆様の達成感に満ちた笑顔が印象的でした。

Only One

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”
“人” etc があると思います。このコーナーでは
そんな人の“Only One”をご紹介します!

3番街 山田慶子さまの Only One

今月のOnlyOneは3番街の山田慶子様。ご主人の山田琢磨様が寄稿して下さいました。
家内の慶子からよく聴かされた、小学校4～5年生頃、大阪城内の官舎での
OnlyOneのエピソードです。

城内の坂道を三輪車に乗し、またを広げて滑り降りる様子を通りかかった大人が見て、
目を丸くしていた事や、城の石垣の隙間に学校から持ち帰った答案を隠したこと。
近くにNHKの大阪のスタジオがあり呼び込みに乗じて潜り込み、
ミヤコ蝶々、南部雄二の漫才を生々のステージで観た事もあったそうです。
学校からの帰り道、八百屋さんの売れ残ったキャベツをもらい受け、
学校に持ち帰り、校庭で飼っていたうさぎにやったら
喜んで食べたことなどなど……のびのびと育った活発な娘だったようです。

京都市内の府立高校から大学の薬学部を卒業し

T電気中央研究所の研究員をしていましたが、結婚後は子育てに専念しながら環境、
医療、薬害問題に関心を持ち、講演会や研究会に参加していました。

50代になって厚生省関連団体発行の月刊誌に「カクレンボをする犬」という題で
愛犬の記事を書いたのがきっかけで、その後ほぼ毎月日常生活で目にしたり
聞いたり読んだりした、主に医療や薬関係のことを話題にしたコラムを書いていました。
割と評判が良いと言われ、合計で100回くらい書いたことになります。

今は当施設で手厚い介護を受けながら過ごしていますが、
いつも目を閉じて半分眠りながら昔のことを思い出しているのが笑っています。

慶子さんにとってのOnlyOneは小学生時代の思い出のようですが、
慶子さんが楽しそうに昔話をされるときの「笑顔」が琢磨さんとご家族にとってのOnlyOneのようですね。



編集後記

夏真っ只中! 水分や塩分補給、手洗いやアルコール消毒をして熱中症や感染症を予防しましょう。